

第42回(公社)宮城県芸術協会音楽コンクール ピアノ部門 予選

上級A

予選通過者番号

1	2	4	7	9	10	13	14	17	
---	---	---	---	---	----	----	----	----	--

審査講評: 高橋 麻子 審査員長

今日のために毎日努力を重ね、皆さん立派に演奏されていました。
古典のソナタをどのように勉強しましたか?
皆さん、音楽的にも技術的にもとても良いものを持っていましたが、古典のスタイルを勉強しそれにふさわしい表現とそのため奏法を発見できたでしょうか。
重さ・軽さ、緊張と弛緩、倚音の扱い、アーティキュレーション、和声や調性、音程差、音域等の変化に相應しい表情の変化など、楽譜から読み取れるものがたくさんあります。
今日の会場は残響が多く、細かな動き一つ一つをクリアに弾くためには相当な奏法の工夫が必要です。その残響に慣れないためか、テーマ自体もクリアに聴こえなかった印象もありました。
また、「フォルテ」と記譜されていても、どのようなフォルテでどのような奏法にするべきなのか、この作曲家の場合、前後関係においてどうあるべきか、その和声内でのバランスは?..など考えることがたくさんあります。
「音自体」を弾くのではなく、如何に立体的に構成しその作品に命を吹き込むか...その過程がとても楽しいと思います。
これから先もたくさんの作品に触れ、学び、聴く人の心に届く音楽を目指していきましょう。皆さんのこれからの音楽を楽しみに応援しています!

上級B

予選通過者番号

2	4	5	6	7	9	10			
---	---	---	---	---	---	----	--	--	--

審査講評: 高橋 麻子 審査員長

作品に真剣に取り組み、誠意をもって音楽と向き合っている演奏をたくさん聴かせてもらいました。
皆さん十分に音楽的にも技術的にも良いものを持っていました。
作品を構成するための理解を深め、その表現のための奏法が求められます。
和声や多声部の中で内声やバスなどのバランス、作品の持つ性格の表現などについてたくさん考えて試行錯誤してみましたか?
また、テンポやリズムを「自分用」に変えてしまったり、「歌わせる」より「進ませ(過ぎ)る」ことを優先してしまい、説得力や全体の構成に影響を及ぼしてしまった演奏もありました。
皆さん、とても良いものを持っていますから、それを活かして作品を立体的に構成し表現し、聴く人の心を動かす演奏を目指してくださいね。
これからの皆さんの音楽を楽しみに応援しています!